

## 2026年 JSCA 賛助会員との技術交流会 5/26 (第2回) 日程表

技術テーマ：「鉄骨系技術の紹介」		
13:30～13:35	開会挨拶・注意事項説明	
13:35～14:20	センクシア (株)	<p><b>①ハイベース NEO-R 工法</b> 露出固定柱脚工法「ハイベース NEO 工法」を一新し、性能・設計自由度・施工性を高めた「ハイベース NEO-R 工法」のご紹介</p> <p><b>②シアコッターハイベース工法</b> 高せん断耐力を保有する V プレース接合工法、及び角形鋼管用露出柱脚工法のご紹介</p>
14:20～15:05	JFE スチール (株)	<p><b>①横座屈補剛工法</b> 床スラブによる上フランジの拘束効果を考慮することで、横補剛材が省略可能となる工法です</p> <p><b>②smarTABH®</b> 溶接組立 H 形鋼の梁端接合部における施工合理化と優れた耐震性能を両立した工法です</p> <p><b>③JFE の耐火被覆低減工法</b> H 形鋼梁における耐火被覆厚を低減できる工法です。鋼管柱の耐火被覆低減工法との組合せにより、更なる省力化とコスト低廉化が可能です</p>
15:05～15:15	休憩	
15:15～16:00	JFE 建材 (株)	<p><b>①鉄骨造で簡単に出来る木質空間のご紹介</b> 合成スラブ用デッキプレートに幅ハギ材を接合することで、天井面を簡単に木質化できる空間のご紹介です。あわせて取得した、耐火認定の内容についてもご説明いたします。</p> <p><b>②RC 造・S 造向け合成スラブ用新耐火認定ご紹介</b> RC 造および S 造向け合成スラブ用デッキプレートの新耐火認定についてのご紹介です。RC 造床に合成スラブを採用することで、コンクリート使用量を大幅に削減でき、建物全体の軽量化および環境負荷低減に貢献します。本認定は RC 造向け・S 造向けの双方において、山上コンクリート 75mm で取得しており、等厚スラブとの取合いもシームレスに納まります。</p>
16:00～16:45	旭化成建材 (株)	<p><b>①露出型弾性固定柱脚工法 ベースパック・セレクトベース</b> ベースパックは、2025 年 12 月に角形鋼管のラインナップを刷新し、セレクトベースも 2025 年 5 月に新評定内容での販売を開始し、両工法ともに適用範囲が拡大しました。本発表では、ベースパック・セレクトベースの新評定内容のポイントや施工事例などをご紹介いたします。</p> <p><b>②鉄骨梁貫通孔補強工法 F・ウィング</b> 2006 年から販売していたフリードーナツ工法の後継として、2025 年 2 月に新工法「F・ウィング」を上市しました。“部分溶接”による取付を特長とし、施工性の向上と設備配管の設計自由度拡大を実現しました。本発表では、工法の特長や施工事例などをご紹介いたします</p>
16:45～16:50	閉会挨拶	